



佐藤紙店 絵／三木麻夕莉

みせ おく ちい かげ ふ む
お店の奥で小さな影が振り向いた。

ばんだい ち いろ
番台に散らばった色とりどり。

いろ あか おお
ちよがみ、色は赤が多いかな。

ひ だ と だ まえ ひろ
引き出しから取り出してはぼくの前に広げる。

「あかねいろ、からくれない、さんごいろ、ももいろ」

た いろ じゅもん さい ごふた
ならび立てた色の呪文、最後二つはピンクだろうか。

こ ねっしん おし
あの子が熱心に教えてくれるものだから。

「これ、すきなんだね」

い ちい わら
そう言ったら小さく笑ってくれた。

じかん
……たのしい時間ってはやくおわっちゃう。

む ひろ そら いろ
アーケードの向こう、広がる空はどんな色？

て ふ か わら
さよなら、またね。手を振る代わりに、ぼくは笑った。

さとうかみてん
佐藤紙店 文／村上加奈